

|      |         |    |      |                    |
|------|---------|----|------|--------------------|
| 整理番号 | HT28326 | 分野 | 医歯薬学 | (キーワード)障害者理解、精神障害者 |
|------|---------|----|------|--------------------|

## 沖縄キリスト教学院大学

### 精神障害者・回復者雇用の重要性—医療・保健・福祉分野及び教職課程履修の上で—

|  |  |        |        |   |
|--|--|--------|--------|---|
| 先生(代表者)  | 近藤 功行(こんどう のりゆき)人文学部・教授  |        |        |  |
| 自己紹介   | <p>大学院博士課程在籍中、日本学術振興会特別研究員 DC・PD の沖縄県での採用第1号となりました。大学院生時代は、人類生態学・公衆衛生学をベースとした研究に関心を持っていました。特に、フィールドワークを基とした基礎的な研究です。その頃からずっと、終末期医療・ターミナルケア・在宅介護に関わる内容や終(つい)・死の場所に関して、与論島を通して調査研究を継続してきています。「沖縄の昔を見るみたいだ」と、沖縄から与論島にやってきたオジイ・オバアはそう語ります。何で、でしょう。「何でかねえ!？」。今回の研究紹介は奄美大島からが中心です。「何でかねえ!？」が、そもそも研究の走りです。探求を5年10年とやってゆくことで、この「何でかねえ!？」のいくつかが解明されるのではと考えます。セレンディピティ(serendipity)を、つかむことが大事です。今夏、1日だけのプログラムですが、一緒に体験をしましょう。そして、一緒に走ってゆきましょう。</p> |        |        |   |
| 開催日時・主な募集対象  | 平成28年8月13日(土)  | (対象)   | 高校生    | (人数) 30名  |
| 集合場所・時間  | 沖縄キリスト教学院大学 SHALOM 1-2 教室  | (集合時間) | 10時15分 |   |
| 開催会場(集合場所)   | <p>沖縄キリスト教学院大学<br/>住所: 〒903-0207 沖縄県中頭郡西原町字翁長777番地<br/>アクセスマップ: <a href="http://www.ocjc.ac.jp/gakuin/gaiyou/kotu_map.htm">http://www.ocjc.ac.jp/gakuin/gaiyou/kotu_map.htm</a></p>  |        |        |   |
| <b>内 容</b>   |  |        |        |   |
| <p>今回実施しますプログラムは、担当者(=近藤功行)の所属する大学への進学目的となるものではありません。これから、県内外の医療・保健・福祉分野を目指す皆さんを対象に募集をはかります。また、大学入学後、小・中学校の教員免許を取得する上で、介護等体験の実習科目を履修します。ここでは、身体・知的・精神障害者のことを学ぶことになります。そのため、医療・福祉・保健系に進学した後で、大学院進学を考えている皆さん、また教員免許を取得することになる皆さんにとって、入学した大学でも障害者理解・障害者雇用のことは学ぶ機会はあるかもしれませんが、奄美大島からの外来講師をお招きして、琉球弧の1離島の障害者施設設立に至る経緯などを知る機会は、ここでしか味わえません。医療福祉の神髄を学ぶこととなります。夏休み始めの1日、このプログラムに費やしてみたいはいかがでしょうか。実施にあたっては、受講生の皆さんが、将来、研究&amp;教育を目指すこと、大学院で学ぶ場合も想定しています。なお、本プログラムに関心のある方のお越しは歓迎します。担当者は、医学系の学会に関わっています。学問的にも、障害者就労はとても大事であると考えています。皆さんがこのプログラムに参加した際、1つの記念になるようにある絵を描いてもらったりもします。こうして、本企画に参加したことが心に残してもらえれば幸いです。無事プログラム終了となった後、当日の流れを書いた冊子をつくり、参加して下さった皆さん1人1人に配布します。当日出た質問も、この中で回答しています。こうした記録をつくる目的は、この年の1つの行事への参加記録にいただき、人生の中でまた振り返ってみて欲しいです。そのお手伝いを、「何でかねえ~」から始まる研究ですが、研究とは何か、皆さんと夏の1日をご一緒に、取り組んでゆきます。 ※本プログラムは、奄美大島の実態、情報伝達を限った時間で伝えたいため「講話」形式となっています。しかし、最大限、対話重視の「講話」を実施者並びに恵川龍一郎所長とで目指してゆきます。また、当日配布する資料、実施後に皆さんの質問に答える追加資料などを作成し、皆さん1人1人にお届けします。ここでは、学習のふりかえの場も設定しています。こうして、実りある1日になるよう、実施者でも努めてゆきたいと考えています。</p> |  |        |        |   |

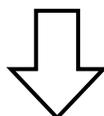
| スケジュール      |   | 持ち物  |
|-------------|---|--|
| 10:15       | 集合確認(受付にて)。資料など配付。  | 筆記用具、ノート   |
| 10:30～10:45 | 開会宣言。担当者挨拶(予定可能であれば、学長挨拶)。お手伝い学生 & スタッフ紹介。プログラム内容の紹介。「科学研究費(科研費:カケンヒ)」の説明について(研究代表者:近藤功行から) |  |
| 10:45～11:00 | 用意した用紙(A4 版 1 枚)に絵を書いて貰う。①今と将来を結びつける内容、②障害者と健常者(=この用語に関しては「障害者」に対する用語として説明する)をイメージする絵。      | <b>特記事項</b><br>① 本内容に関する予備知識は、まったく不要です。<br>② 開催校(沖縄キリスト教学院大学または沖縄キリスト教短期大学)への受験とは全く関係のない、受講者の進路にあわせた日本学術振興会実施のプログラムです。 |
| 11:00～11:10 | (休憩)  |  |
| 11:10～11:55 | 近藤功行談話:科学研究費で目指したもの・目指しているもの。科学研究費獲得の重要性と今回、紹介したい研究から。                                      |  |
| 11:55～13:00 | (お昼休み:弁当・御菓子支給)   |  |
| 13:00～13:45 | 恵川龍一郎所長の講話:精神科病院と精神障害/回復者小規模作業所、こうした精神障害者(回復者)の就労の重要性を奄美大島から発信する視点                          |  |
| 13:45～13:55 | (休憩)  |  |
| 13:55～14:40 | 近藤・恵川所長講話:精神障害者(回復者)理解はなぜ必要なのか。   |  |
| 14:40～14:50 | (休憩)  |  |
| 14:50～15:30 | 総括。受講者の皆さんからの感想や意見発表。午前中実施の①②の絵の解説(①=恵川龍一郎所長、②=近藤功行、から)。                                    |  |
| 15:30～15:45 | 今回の企画に関するアンケート記入時間(トイレ休憩可)  |  |
| 15:45～16:00 | 『未来博士号』の授与(受講者1人1人に手渡し)   |  |
| 16:00～16:10 | 会場内の後片付け(みんなで)。プログラム終了宣言(主催者:近藤功行)。解散。  |  |

### 《お問い合わせ・お申し込み先》

|          |                                   |
|----------|-----------------------------------|
| 所属・氏名 :  | 沖縄キリスト教学院大学 企画推進課 金城 太(きんじょう ふとし) |
| 住 所 :    | 沖縄県中頭郡西原町字翁長777番地                 |
| TEL 番号 : | 098-946-4161                      |
| FAX 番号 : | 098-946-1241                      |
| E-mail : | kikaku@ocjc.ac.jp                 |
| 申込締切日 :  | 平成 28 年 7 月 22 日(金)               |

### 《プログラムのテーマと関係する科研費》

| 研究代表者 | 研究期間   | 研究種目    | 課題番号     | 研究課題名                    |
|-------|--------|---------|----------|--------------------------|
| 近藤功行  | H17-18 | 基盤研究(C) | 17590465 | 精神障害者、回復者の就労をめぐる医療社会学的研究 |



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。